

＝ 裏方さんが主役 ＝

—華やかな舞台を支える「裏方さん」を対象とした—

**第25回「ニッセイ・バックステージ賞」
表彰候補者の公募について**

2019年3月

公益財団法人 ニッセイ文化振興財団
(日生劇場)

公募締切 2019年4月30日

本件に関するお問い合わせは下記にお願い申し上げます。

公益財団法人ニッセイ文化振興財団

担当：専務理事・事務局長 瀬川 秀一 (セガワ シュウイチ)
業務管理部 課長 藤森由美子 (フジモリ ユミコ)

TEL：(03)3503-3115 FAX：(03)3581-3493

URL：<http://www.nissaytheatre.or.jp/>

〒100-0006 東京都千代田区有楽町1丁目1番1号

- ニッセイ文化振興財団〔理事長 武田嘉和〕（財団概要〔資料1〕）は、舞台芸術を裏から支え優れた業績を挙げておられる舞台技術者＝「裏方さん」たちを顕彰し、またそのご労苦に報いるために「ニッセイ・バックステージ賞」を1995年に創設しました。

この度、第25回「ニッセイ・バックステージ賞」表彰候補者を公募します。

- 当財団の事業目的は、東京日比谷の日生劇場を中心として『すぐれた舞台芸術を提供するとともにその向上をはかり、もってわが国の芸術文化の振興に寄与する』ことにあります。財団設立以来、「届ける（優れた舞台芸術を制作、上演する）」「育む（青少年の豊かな情操を育てる）」「支える（舞台芸術を支える人材を育成する）」という3つの基本理念のもと、主に以下の活動を行っています。

- ① 舞台技術者を育成、支援する「日生劇場舞台フォーラム」を1993年に発足させました。日生劇場の舞台と実際に上演されている舞台装置・照明・音響・衣裳などを使い、第一線級の指導者による若手舞台技術者向けの教育の場として大きな反響をいただいています。
- ② 日生劇場開場翌年から、50年間にわたって小学生をミュージカルに無料招待した「ニッセイ名作劇場」を発展させた「ニッセイ名作シリーズ」を2014年よりスタートしました。優れた舞台芸術に触れることを通じて子どもたちの情操が豊かに育つことを願い、小学生から高校生までをオペラ・バレエ・人形劇・クラシックコンサート等幅広い芸術ジャンルへ招待する取り組みを、日生劇場はもとより全国で展開しています。「ニッセイ名作劇場」からの取り組みを含めると約790万名を超える招待数となります。
- ③ ご家族で本格的な舞台芸術に触れていただくことを願い、バラエティに富んだ質の高い舞台芸術を低廉な料金で紹介する「日生劇場ファミリーフェスティバル」を1993年に発足しました。これまでの鑑賞者数は約37万名になります。
- ④ オペラ愛好者層を広げる活動として、1985年にスタートした「NISSAY OPERA」では、国内外で活躍している実力派のオペラ歌手による最高水準の公演を目指して上演しています。

私どもは、このような事業の実施を通じて、いわゆる「裏方さん」たちの支えがなければ質の高い舞台づくりはできないことを痛感しています。

○ 本賞では、舞台芸術を支える「裏方さん」たちに光を当て、永年のご労苦に報いたいという思いを具現し、また後継者育成の一助になればと、これまで56名の素晴らしい方々を表彰させていただきました。

昨年の第24回には、「大道具」の松崎政男さん、「文楽人形衣裳縫製」の牧野圭子さんという、いずれもその分野で優れた業績を挙げられた御二方が表彰されました（「これまでの受賞者の方々」〔資料2〕）。

○ 表彰対象者は、「舞台を支える『裏方さん』たち」で、それぞれの分野で優れた技術を保持し、舞台づくりに貢献しておられる方々です。

また、後継者の育成に尽力しておられる方々、さらには全国各地で舞台芸術を地道な活動で支えておられる方々にも注目しています。

○ ご多用のところ誠に恐縮に存じますが、本賞にふさわしい候補者をご推薦いただきたくなにとぞよろしくご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

○ 「表彰要綱」〔資料3-1〕、別紙「推薦書ご記入に際してのご留意事項」をご高覧いただき、「推薦書」を作成のうえ、同封の返信用封筒にて

本年 4月30日（火）までに

当財団宛お送りください。

なお、選考委員会にて審査のうえ、10月に選考結果を発表し、11月下旬に日生劇場にて贈賞式を開催させていただく予定です。

「ニッセイ文化振興財団」概要

- 名 称 : 公益財団法人ニッセイ文化振興財団
- 所 在 地 : 東京都千代田区有楽町1丁目1番1号
- 設 立 日 : 1973年11月1日
- 基 本 財 産 : 10億375万円 (2019年3月現在)
- 役 員 等 : 理事長 武 田 嘉 和
その他に理事7名、監事2名、評議員23名
- 主 な 事 業 活 動 :
 1. 「ニッセイ・バックステージ賞」の表彰
 2. 「日生劇場舞台フォーラム」の開催
 3. 主催公演の実施
 - ① 「ニッセイ名作シリーズ」
 - ② 「日生劇場ファミリーフェスティバル」
 - ③ 「NISSAY OPERA」
 4. 「日生劇場」の運営管理

『ニッセイ・バックステージ賞』 これまでの受賞者の方々

公益財団法人 ニッセイ文化振興財団

受賞年度	ジャンル	氏名	受賞時 年 齢	主 な 活動地域
第 1 回 (1995年)	歌舞伎「床山」	ナ ス タケ オ 那 須 武 雄	80 歳	東 京
	新劇衣裳製作	カワモリ シゲ オ 河 盛 成 夫	76	東 京
	文楽人形「かつら、床山」	ナゴシ ショウ ジ 名 越 昭 司	65	大 阪
第 2 回 (1996年)	舞台監督	タナカ コウドウ 田 中 好 道	78	東 京
	オペラプロデューサー	カワチ ショウゾウ 河 内 正 三	70	東 京
	歌舞伎衣裳縫製	スガヤ マチ コ 菅 谷 マ チ 子	60	東 京
第 3 回 (1997年)	日本物舞台衣裳製作	ナカガワ キク エ 中 川 菊 枝	82	兵 庫
	伝統芸能小道具製作	スギヤマ コウ ジ 杉 山 好 二	74	東 京
	チェンバロ製作・調律	モモセ ショウ ジ 百 瀬 正 二	70	東 京
第 4 回 (1998年)	ホール案内業務	オオムラ イ ネ 大 村 い ね	79	東 京
	琉球伝統芸能の琉髪結髪	コナミ ノリ オ 小 波 則 夫	68	沖 縄
	大道具製作（背景）	クドウ カズ オ 工 藤 和 夫	67	東 京
第 5 回 (1999年)	演劇プロデューサー	クラバヤシ セイイチロウ 倉 林 誠 一 郎	86	東 京
	舞台照明	アベ キチノスケ 阿 部 吉 之 助	74	東 京
	文楽小道具	ワダ トキ オ 和 田 時 男	68	大 阪
第 6 回 (2000年)	舞台音響効果	サクモト ヒデノブ 作 本 秀 信	84	大 阪
	小道具の製作	マツヤ イサオ 松 家 公	72	東 京
	演劇道具の輸送	カヤノ アキラ 樫 野 明	57	東 京
第 7 回 (2001年)	演劇鑑賞団体の運営	オカダ フミエ 岡 田 文 江	85	大 阪
	ステージ・マネージャー	ミヤザキ タカオ 宮 崎 隆 男	74	東 京
	演劇の通訳	カキガハラ ミエ 垣 ケ 原 美 枝	58	東 京
第 8 回 (2002年)	児童合唱団の運営	ミナガワ カズコ 皆 川 和 子	80	東 京
	地芝居振付	マツモト ダンショウ 松 本 団 升	80	岐 阜
	バレエ衣裳製作	オオイ マサコ 大 井 昌 子	70	東 京
第 9 回 (2003年)	劇人形デザイン・製作	ホサカ スミコ 保 坂 純 子	73	東 京
	大道具・背景画	ヤマモト フジ オ 山 本 富 二 夫	69	東 京
第 10 回 (2004年)	劇場運営・演劇プロデューサー	ヤマネ トシコ 山 根 淑 子	77	兵 庫
	小道具等特殊美術製作	フジノ シナイ 藤 野 級 井	69	東 京

(年齢順・敬称略)

受賞年度	ジャンル	氏名	受賞時 年齢	主な 活動地域
第 11 回 (2005年)	歌舞伎背景画	ゴトウ ヨシヨ 後藤 芳世	72 歳	東京
	舞台監督	タハラ ススム 田原 進	68	東京
第 12 回 (2006年)	劇場運営	イトウ エイコ 伊藤 英子	87	福岡
	調べ司	ヤマシタ ユウジ 山下 雄治	71	京都
第 13 回 (2007年)	舞台美術	イタサカ シンジ 板坂 晋治	78	大阪
	オペラ合唱	シンコダ タケシ 新小田 大	71	東京
第 14 回 (2008年)	大道具大工	ハラダ クニトシ 原田 國利	69	東京
	衣裳・小道具製作	コアラ ヨウコ 小寺 洋子	65	東京
第 15 回 (2009年)	人形劇プロデューサー	ウノ コシロウ 宇野 小四郎	80	神奈川
	歌舞伎「床山」	ミウラ キクオ 三浦 菊雄	75	東京
第 16 回 (2010年)	演劇鑑賞団体の運営	カワノベ フミオ 川述 文男	84	福岡
	オペラ合唱指揮	オイカワ ミツギ 及川 貢	74	東京
第 17 回 (2011年)	ライブラリアン	リュウマエ ノリコ 龍前 範子	80	東京
	舞台監督	カワグチ コウゾウ 川口 浩三	70	東京
第 18 回 (2012年)	舞扇の製作	フクイ シロウ 福井 四郎	83	京都
	ピアノ調律	ヤマダ ヒロシ 山田 宏	81	東京
第 19 回 (2013年)	舞台監督	カネイチ ヒロシ 金一 浩司	75	東京
	歌舞伎「ツケ打ち」	シバタ マサトシ 芝田 正利	69	東京
第 20 回 (2014年)	かつら製作	イシカワ タクオ 石川 卓男	89	京都
	音響効果オペレーション	トミタ ケンジ 富田 健治	71	東京
第 21 回 (2015年)	舞台美術 背景画家	シンジョウ エイトク 新城 榮徳	77	沖縄
	歌舞伎「狂言作者」	タケシバ ショウジ 竹柴 正二	74	東京
第 22 回 (2016年)	箏の製作・調整・舞台設営	ヤマナカ マサオ 山中 正夫	76	東京
	オペラ衣裳製作	シモトマイ ユキコ 下斗米 雪子	69	愛知
第 23 回 (2017年)	舞台音響効果	タムラ イサオ 田村 憲	86	東京
	パイプオルガンの設置・調律・保守	モチヅキ ヒロユキ 望月 廣幸	77	東京
第 24 回 (2018年)	大道具	マツザキ マサオ 松崎 政男	82	埼玉
	文楽人形衣裳縫製	マキノ ケイコ 牧野 圭子	70	大阪

「ニッセイ・バックステージ賞」表彰要綱

公益財団法人 ニッセイ文化振興財団

表彰対象	舞台芸術を裏から支え、舞台づくりに貢献し、優れた業績を挙げておられる舞台技術者＝ 「裏方さん、職人さん」（原則として、現役でご活躍中の個人） ※当財団役員並びに評議員は表彰対象から除きます
分野（例）	<ul style="list-style-type: none"> ■ 大道具、小道具、照明、音響、特殊効果、衣裳、着付、靴、床山、メイク等の業務従事者及びそれらの製作部門の全て ※プランナー、デザイナーは除きます ■ 舞台機構（迫り、吊り物等）の操作技術者 ■ プロンプター、コレペティトゥア、オーケストラマネージャー、調律師、ライブラリアン ■ バレエ・ミストレス ■ 狂言方、附打 ■ 劇場やホールの運営、舞台及び楽屋の管理、案内、窓口業務従事者 ■ 台本翻訳、通訳 ■ プロデューサー、舞台監督、演出助手
選考の視点（例）	<ul style="list-style-type: none"> ■ 永年、裏方として優れた舞台づくりに貢献している人材 ■ 舞台芸術を支える各分野で革新的な技術を開発し、または将来を嘱望するに足る実績を示した人材 ■ 舞台技術の後継者の育成に尽力している人材 ■ 全国各地で地道な活動で「舞台芸術を支えている裏方さん」
表彰者数	毎年 2名以内
表彰内容	賞状及び記念品 賞 金：100万円 年 金：年額50万円（70歳支払開始、終身年金）
選考方法	全国の舞台芸術有識者多数の方々からご推薦（自薦を除く）をいただき、選考委員会で審査の上決定します (選考委員は〔資料3-2〕参照)
募集締切	2019年4月30日（火）
発表	2019年10月中旬（予定）
贈賞式	2019年11月下旬（予定）
お問い合わせ先	公益財団法人ニッセイ文化振興財団 担 当：専務理事・事務局長 瀬川 秀一（セガワ シュウイチ） 業 務 管 理 部 課 長 藤森由美子（フジモリ ユミコ） T E L：(03)3503-3115 F A X：(03)3581-3493 U R L：http://www.nissaytheatre.or.jp/ 〒100-0006 東京都千代田区有楽町1丁目1番1号

「ニッセイ・バックステージ賞」選考委員

公益財団法人 ニッセイ文化振興財団

織 田 紘 二	独立行政法人 日本芸術文化振興会 顧問
岸 田 生 郎	昭和音楽大学 教授
佐 藤 信	劇作・演出家／座・高円寺 芸術監督
高 田 一 郎	舞台美術家／武蔵野美術大学 名誉教授
永 井 多恵子	公益財団法人せたがや文化財団 理事長
野 村 萬	公益社団法人日本芸能実演家団体協議会 会長
吉 井 澄 雄	公益社団法人日本照明家協会 名誉会長
武 田 嘉 和	公益財団法人ニッセイ文化振興財団 理事長

(五十音順・敬称略 2019年3月現在)